

スクラム

田中じゅんじ
尼崎市政レポート



2011.8-VOL.08

～たいせつな人たちとともに歩んでいける尼崎へ～ URL <http://junt.blog.eonet.jp/>

田中じゅんじは、市の審議会委員・外郭団体役員等を務めた際の報酬・費用弁償を一切受け取らず、議員報酬も30%カットしている**唯一の尼崎市議会議員**です。

東
北に
尼崎
から
で
き
る
い
い
と

議員報酬30%をカットして積み立てた約350万円を気仙沼市へ寄付しました

尼崎市役所では、東日本大震災により被災した自治体のうち、宮城県の気仙沼市を中心に、長期的で継続的な支援を行い、被災地域との信頼関係を構築していくことになりました。これは、カウンターパート方式という、対応相手先を定めて支援する方法です。

○田中じゅんじは5月16日から20日までの間、車で岩手、宮城、福島各県を巡り、がれき処理のボランティアなどを行うとともに、尼崎市へ返すために市議当選時から積み立ててきた、議員報酬の30%カット分 **347万891円**を今回、義援金とさせていただき、気仙沼市役所へ届けてきました。

被災地の壮絶な光景の中で、現地の方々にお話を聞かせていただきました。その中で、いわゆる普通の避難所では過ごしづらい、認知症の方や難病患者がおられることを知りました。このことから、尼崎市にベッド等の必要な設備が整備された、**福祉避難所**が早急に必要だと思いました。

◎今回被災地に赴き、見たこと、聞いたことから得た発想を、尼崎市政に活かすため、平成23年6月10日(金)に一般質問を行いました。詳しくは、尼崎市議会公式ホームページの議会中継録画をご覧ください。→ <http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/gikai/>

この国があって この尼崎がある

本年度当初の国家予算が約92兆4116億円というなか、東日本大震災の被災地復興予算には、まず5年間で19兆円程度が必要といわれており、被災地復興支援は、これからの正念場です。

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の際、尼崎も全国から様々な支援を受けました。今度は、こちらが恩返しする番だと思います。【田中じゅんじ】



▲気仙沼市本吉町でのがれきと遺留品の分別作業中

受領証明書

住所 尼崎市東七松町1-15-3

氏名 尼崎市議会議員 田中淳司様

金 3,470,891 円

摘要 東日本大震災義援金として上記の金額を受領いたしました。

平成23年 5 月 17 日

宮城県気仙沼市八日町一丁目1番1号

気仙沼市長 菅原 茂

領収書 ▶

気仙沼市役所への寄付状況
(H23年7月28日現在)

- ・義援金(被災者に対する生活支援として活用する): 4億8846万8635円
- ・寄付金(市内の災害復旧及び復興事業に活用する): 4億9233万1397円

◇お問い合わせ: 気仙沼市役所 保健福祉部 社会福祉事務所 社会福祉係 TEL.0226-22-6600(内線293・294)

ずさんな動物愛護管理行政

◎平成22年8月に設置された「尼崎市における動物愛護管理行政のあり方検討会議」からの提言書が、今年4月に尼崎市長に提出されました。提言内容は、殺処分ゼロを目指すことや、動物取扱業者への規制を強めること等、尼崎市の愛護管理行政に必要な意見が、一定限取りまとめられています。

その提言書に関する報告が、今年5月11日の健康福祉委員会で行われた際、委員である田中じゅんじは、尼崎市動物愛護センターにおいて、主に動物の殺処分時に使用される劇薬「ソムノペンチル（向精神薬）」の用途について尋ねました。しかし、当局の説明が曖昧だったため、改めて6月10日の一般質問で取り上げました。（新聞記事参照）
 厳重な管理が求められる薬品であるにもかかわらず、用途が「推測」となることに、大変驚きました。西宮市動物管理センター等では、使用記録が当然に存在します。

○尼崎市動物愛護センターでの殺処分数は《平成21年度 犬97頭・猫575頭》

平成22年7月に熊本市動物愛護センターを訪れた際、センターで働く方々の、ちいさな命を生きかそうとする懸命な姿勢に感銘を受け、私にとって熊本市は特別な場所になりましたが、未だ尼崎市動物愛護センターは、本市をイメージアップできるような仕事ぶりにはなっていないようです。【田中じゅんじ】

◆尼崎市動物愛護センター TEL. 06-6434-2233

劇薬使用記録せず
 動物の 指摘受け改善へ 尼崎市
 安楽死 劇薬死

尼崎市動物愛護センターで、動物の安楽死に使用している劇薬「ソムノペンチル」について、同市が使用の記録簿を付けていなかったことが分かった。市議会で、田中淳司市長（緑のかけはし）の一般質問で明らかになった。ソムノペンチルは、向精神薬。同市は、5月の健康福祉委員会の協議会で、田中市長から指摘を受けた直後、使用記録を残すように改訂したという。本会議で、田中市長は「担当者に向精神薬の使用状況を聞く」と「推測です」として、

毎日新聞の取材に、市生活衛生課の後藤修志課長は「法律上は問題ないので、不適切とは考えていない。ただ、指摘を受け、この薬剤は厳密に扱うべきだと判断した」と釈明した。一方で、田中市長は「隣の自治体では当然のように記録してあり、殺傷能力のある危険な薬を、厳密に取り扱うのは当然」と話した。【生野由佳】

（2011年6月11日 毎日新聞 朝刊）

阪神水道企業団議会 議員に選ばれました

田中・尼崎市議 報酬辞退申し出
 阪神水道企業団に
 神戸・尼崎・西宮・芦屋の4市で構成し、水道水を供給している「阪神水道企業団（神戸市東灘区）」で、7月から企業団議会の議員を務める田中淳司・尼崎市議が5日、月額報酬と交通費などの費用弁償の受け取り辞退の申し入れをした。企業団の負債が約940億円あることから、田中市長は「職員削減も含めた再建案を示す前に、率先して行動したい」としている。

企業団議会は、4市の議員や市長ら計15人で構成。田中議員の場合、月額報酬は5万2千円。費用弁償は、年18回ほどある会議に出る際に日額5千円が支払われる。

議会事務局によると、他の議員では、昨年12月に就いた福村和美・尼崎市長が辞退している。

（山下龍一）



（2011年8月6日 朝日新聞 朝刊）

○神戸・芦屋・西宮・尼崎が共同運営する「阪神水道企業団（略して阪水）」は、淀川からくみ上げた水を浄化し、4市に卸売りしている組織です。

私たちが暮らす尼崎の蛇口から出る水は、阪水から買った水です。

阪水には、4市から参加する市会議員や市長による議会が設けられており、阪水の経営等をチェックする仕組みです。

◎阪水の経営状況は負債が約940億円もあり、今後施設や設備等の維持、更新に多額の費用が必要と見込まれ、**ともすると私たちの水道料金値上げにもつながりかねないほど悪化した財務状態です。**

しかし一方で、旧建設省の天下りである阪水企業長の給与は月額約99万円、賞与は年間418万円（2009

年）となっており、阪水議員には報酬が月額支給で5万2千円プラス、会議等に出席するたびに、費用弁償（交通費）5千円が支給されています。

○真っ先に自分の身を切らなければならない、経営者や議員側が、漫然と高額給与や、実費とかけ離れた交通費（JR立花～阪水所在地最寄駅の住吉区間は210円）等を受け取るわけにはいかない思いから、田中じゅんじは議員報酬と費用弁償の受け取りを辞退しました。（新聞記事参照）

阪水議員としての任期は1年間ですが、しっかりと阪水企業団を監視し、情報を尼崎市民へ届けてまいります。【田中じゅんじ】

◆阪神水道企業団公式ホームページ➔

<http://www.hansui.or.jp/>

尼崎市当局は放射性物質から市民を守れ

○今年4月時点での、環境省による「被災地で発生したがれき処分の受け入れ調査」に対し、尼崎市当局は年間で、可燃ゴミ1万トン、粗大ゴミ1400トンを受け入れ可能と答えました〔※1〕。

しかし、千葉県柏市や、東京の淀川清掃工場等では、焼却灰から高濃度の放射性セシウム〔※2〕が検出され、その処理方法に頭をかかえています。

兵庫県知事は、被災地で発生したゴミの受け入れに積極的なようですが、厳重な基準に基づくチェックを経ず、尼崎住民の理解を得ないままでは、放射性物質が付着している可能性のあるゴミを、本市に受け入れることはできないと考えます。

田中じゅんじは、今年6月10日の一般質問〔※3〕でこの問題について、市当局に質し、6月15日の健康福祉委員会 所管事務調査では、尼崎市内に流通している食材について、保健所による放射性物質の測定等を行うよう求めました。

◎放射性物質の影響を一番受けるのは、未来を背負ってたつ子どもたちです〔※4〕。

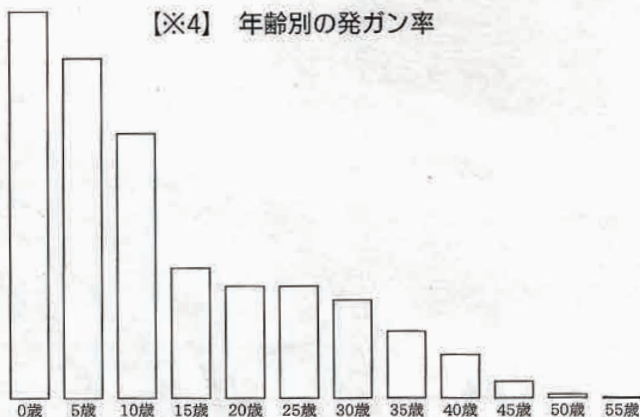
尼崎市当局は、放射性物質に汚染されていないものしか受け入れないことを、ただちに表明すべきです。【田中じゅんじ】

〔※2〕 セシウムとは？

原子力発電の燃料に使うウランなどが核分裂反応をおこして生成される放射性物質（死の灰）。体内に入ると細胞内に溶け込み、放射線を出し続ける。

〔※3〕 「尼崎市議会だより」第84号に、質問の要旨・答弁が掲載されています。議会だよりの配付をご希望の方は、尼崎市議会事務局 議事課 TEL. 06-6489-6112 までお申し付けください。

〔※4〕 年齢別の発ガン率

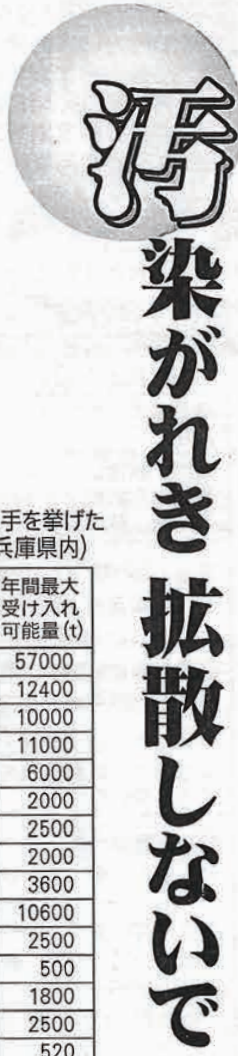


(米国 J.ゴフマン博士による評価を、京都大学原子炉実験所 小出裕章氏が図示)

〔※1〕 焼却処分に手を挙げた自治体等(兵庫県内)

自治体名等	1日処理可能量(t)	年間最大受け入れ可能量(t)
神戸市	160	57000
姫路市	60	12400
尼崎市	110	10000
明石市	37	11000
西宮市	20	6000
洲本市	10	2000
芦屋市	10	2500
相生市	20	2000
豊岡市	10	3600
加古川市	30	10600
宝塚市	10	2500
三木市	117	500
高砂市	12	1800
三田市	130	2500
加西市	10	520
篠山市	30	4000
養父市	5	600
丹波市	9	2340
南あわじ市	5	500
朝来市	5	900
淡路市	10	1800
播磨市	7	2000
佐用町	2	180
新温泉町	3	768
揖龍保健衛生施設事務組合	10	2000
洲本市・南あわじ衛生事務組合	10	2000
小野加東環境施設事務組合	110	3000
くれさか環境事務組合	10	1600
猪名川上流広域ごみ処理施設組合	23	2100

(出典:AERA 2011.8.8号)



◎尼崎在住のシンガーソングライター きぬがわ りょうすけ 衣川亮輔さんのせつなくも癒され元気になれる歌にふれて下さい
 クロスエンタテイメント所属アーティストによる 『ふるさと・元気・笑顔 にっこりにコンサート』
 とき：2011年10月1日(土) 開場16時半◇開演17時 ところ：神戸芸術センター 芸術劇場
 全席自由 3千円(税込) チケットお求めは：株式会社クロスエンタテイメント TEL. 0744-26-1177

尼崎市議会改革の現状について

○平成22年2月5日からスタートした「尼崎市議会のあり方検討委員会」で、平成23年6月現在までに13回開催された中間結果を、下の表にまとめました。委員は全て各会派から選出された議員で占められており、ひとつの提案項目に対し、結論を出すまでにかかる時間は、概ね2ヶ月～3ヶ月です(委員会の開催は、ほぼ毎月1回)。全国的にも、議会の存在意義が厳しく問われ、議会改革が急ピッチで進められている中、尼崎市議会のあり方検討委員会は迅速な決断力もなく、委員会設置期限の平成25年6月まで、審議を行うとしています。この姿勢を変えさせるためにも、市民の声を聴き、活かす議会改革を行うよう、強く求めていきます。【田中じゅんじ】

尼崎市議会のあり方検討委員会で議論された中間結果一覧表(要約)

会派名表示：新政→新政会、公明→公明党、新グ→新風グリーンクラブ、共産→共産党、緑→緑のかけはし(田中じゅんじ所属)

提案内容	委員から出た主な意見等	結論
審議の際に参考人招致をより活用する(提案会派：緑)	・参考人制度は、これまでも委員会として必要があると認めた時は活用してきた等々	制度の変更は行わない
議会棟内の完全禁煙化(提案会派：共産)	・受動喫煙を完全に防ぐため設備投資をし、市民にも利用できるようにするべき等々	議会棟内を完全禁煙とする
請願、陳情について、趣旨説明者に議員から質疑できるようにする(提案会派：緑)	・口頭陳述にいられた陳情者に対して質問できないのは不自然であり、その場でやりとり出来ないのは不便等々	各常任委員会委員長の判断により柔軟に対応する
児童、幼児等への傍聴制限を緩和する(提案会派：緑)	・マナーの範囲で対応する問題であり、議長に傍聴許可を得なければならぬのは傍聴者へのハードルになる ・幼児等の傍聴は議事進行の妨げとなるので許可制のままとするべき等々	<提案に賛成→緑> <提案に反対→新政、公明、新グ、共産> 結果：傍聴制限を緩和しない
議員本人と配偶者の資産公開を義務化する(提案会派：共産)	・現行の制度(各議員が任意で提出)でも透明性は確保されている ・配偶者の資産公開はプライバシーの侵害だ等々	<提案に賛成→緑、共産> <提案に反対→新政、公明、新グ> 結果：資産公開を義務化しない
本会議で、関係資料の配布や、様々な方法での資料提示を可能にすること(提案会派：緑)	・スライドやパワーポイント等を議場で使用するには、照明や安全面等で問題がある等々	議員個人の責任において、傍聴者への資料配布も可能とする
議員が審議会委員等を務める場合、無報酬とする(提案会派：緑、共産)	・議員報酬を支給されている上に、委員報酬を受け取るのは重複報酬であり問題だ ・報酬を支給しないのは、地方自治法203条の2に抵触する可能性がある等々	<提案に賛成→緑、共産> <提案に反対→新政、公明、新グ> 結果：無報酬としない
決算審査のあり方を改善する(提案会派：公明、新グ、緑)	・毎年、全議員が決算審査に携わるべき ・各会派の中から数名の決算委員を送り出す、現行通りのかたちでよい ・発言時間を制限すべき等々	9月(次期決算)以降に結論を先送り
一般質問、代表質問で一問一答方式ができるようにする(提案会派：緑)	・登壇回数制限(現在は3回まで)を撤廃した上で、一問一答にする、しないは、各議員が選択できるようにすればよい等々	試行的に一問一答方式を導入する見込み(6月現在検討中)

◎今後、議会のあり方検討委員会で議論される予定案件(一部抜粋※)

※<>内は採決結果

- ・議員個人の採決対応を市議会公式ホームページに掲載する
- ・常任委員会等もインターネット中継する
- ・市議会による車座集會を実施する
- ・休日、夜間、出前議会等を実施する
- ・政務調査費の用途について検証する市民参加型委員会を設置する
- ・市長など執行機関側からの反問を認める運用にする
- ・議会基本条例の制定を検討する

※全項目は尼崎市議会公式ホームページに掲載されています。→ <http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/gikai/>

尼崎市議会議員 田中じゅんじプロフィール

昭和49年7月11日・尼崎市生まれ 37才

慈愛幼稚園、七松小、日新中、(現)関西大学北陽高等学校卒業

平成6年 共友電設入社

平成7年 発生した阪神・淡路大震災地域における設電作業従事等を経て、

平成17年より難病(パーキンソン病)の祖母の介護を行う過程において、医療・介護費不正請求問題、介護事故訴訟に原告側として取り組む。

平成19年 丸尾まき県議会議員選挙スタッフ

平成20年 兵庫県議会 会派スタッフ / 市民オンブズ尼崎世話人

平成21年 尼崎市議会初当選 / 会派「緑のかけはし」所属 / 健康福祉委員会 委員

平成22年 健康福祉委員会 委員 / 議会のあり方検討委員会 委員

平成23年 文教委員会 委員 / 阪神水道企業団議会 議員

血液型：O型 星座：かに座 特技：ギターなど楽器全般



◇ぜひ、ご意見・ご感想などをお聞かせ下さい

尼崎市議会議員 田中じゅんじ事務所

【事務所】〒660-0051 尼崎市東七松町1-15-3 TEL/FAX.06-6481-4764 携帯.090-1225-2046 / jt4940@ezweb.ne.jp

【市議会控室】〒660-8501 尼崎市東七松町1-23-1 TEL.06-6489-6950 FAX.06-6489-6951 E-mail. tanakajunge@yahoo.co.jp